

研究課題名：子宮頸癌 I B2- II B期手術症例の臨床的検討

患者さま医療情報の研究利用について

現在、I B2期からII B期の子宮頸癌の治療法として、通常患者さまの年齢や合併症、ご希望などに配慮して手術を選択する場合や放射線を主体とした治療を選択する場合があります。また、少数派ながら手術後や手術前に化学療法（抗がん剤治療）を行う施設もあります。それぞれに治療効果や副作用、合併症などの点において長所と短所があります。

そこで北里大学産婦人科では、子宮頸癌 I B2期から II B期に対して、これまでに行われた治療法（手術、放射線治療、化学療法）についての効果（治療後再発までの期間や再発部位、再発治療や生存期間など）や有害事象（排尿障害やリンパ浮腫など）を調査することにより、適切な治療法の選択について検討する、「子宮頸癌 I B2期- II B期手術症例の臨床的検討」（調査）を行うことといたしました。

調査対象となるのは2004年1月1日から2013年12月31日までの間に当院で初回治療を開始した患者さまです。本研究で調査する項目は、「年齢」「身長、体重」「組織型」「手術所見」「術後治療の有無と内容」「有害事象の種類や重症度」「2014年12月1日現在の健否の状況」などで、これらの情報の保存・解析に際して、患者さまの情報は匿名化され、氏名や住所などの個人情報とは分離されますので、個人情報公表されることは一切ございません。収集した情報は、北里大学産婦人科で解析され、研究実施期間中は施錠のできるロッカーで厳重に保管され、研究終了後（研究成果の最終公表から5年後）に処分されます。今回の研究で得られた結果は、学会や雑誌などで報告されることがあります。本研究の調査対象に該当する患者さまで調査に同意されない方はお申し出ください。診療上の不利益を被ることは一切ありません。また、本研究に関して、ご質問などがございましたら、下記の連絡先まで御連絡ください。

連絡先

〒252-0375

神奈川県相模原市北里 1-15-1

北里大学病院産婦人科

研究事務局：高田 たかだ としお としお 恭臣

研究代表者：恩田 おんだ たかし たかし 貴志

TEL: 042-778-8414

FAX: 042-778-9433